

第2予算審査 特別委員会委員長 報告

委員長 牟田口美智子
副委員長 小島 裕司
委員 山北 清四郎
中島 宗昭
孤方 英二
益田 隆一

平成28年度一般会計 予算審査概要

付託された所轄7課の予算
編成総額26億2,900万円
について審査した。

税務町民課

住民窓口の証明書等をコ
ピーガード式にできないかの
提案に、平成28年度より実施。
人権啓発コンサートは初め
ての形式、色々な世代に参加
呼びかけの充実を要望。

こども未来課

町内4つの保育園で組織す
る大木町保育協会では給食部
会、保育研修部会で定期的に
研修を行っている。平成27年度
より、認定こども園(光の子幼
稚園)にも保育士研修会へ参加
をお願いしているとのこと。

医療費支給制度改正(平成
28年10月)については、県支
給制度改正、町支給制度改正
こども医療費、重度障害者医
療費、ひとり親家庭医療につ

いて詳しく説明を受ける。

学童保育所委託料の増加
は平成28年度から大溝学童
保育所が1教室から3教室に
なり指導員が増えるための人
件費の増加。

健康課

健康福祉センター施設・設備
改修工事で、今後数年単位、10
年単位を見越し、町の財政状
況や整合性を考え、これを機に
「公共施設に関する適正を検
討する」検討委員会の提案や
町全体の施設の在り方を考え
る時ではないかとの意見も出た。
健康被害活動委員会は、現
在本町では健康被害(子宮頸
がんワクチン等)は出ていない
が、発生時の対応予算として
説明を受ける。

福祉課

社会福祉協議会の配食サー
ビスが現在、平成27年度で8,
000食が見込まれ、これ以
上増えると限界ではとの質問
に、安否確認も兼ねているので、

今後の課題であると説明を受
け、今後も増加傾向にあるの
で対応の検討を要望。

介護保険料は平成27年度
より、Bから一番安いCに下が
り、要因として町民の健康維
持への努力や、「サロン事業・も
みじ俱樂部・介護予防教室」へ
の参加で介護サービス費用の
給付が減少しているとのこと。

環境課

バイオマスセンターは稼動か
ら10年が経ち、事故がないよ
う徹底した安全管理を要望し、
町の顔のよりよい環境づくり、
安全・安心の町づくりを考え、
液肥利用の拡大と環境向上
推進に努力を願ひ、大規模施
設の安全・維持管理を願う。
環境プラザで販売の陶器砂
は埋め戻し用、または、雑草対
策として非常に好評の為、
もつと、PRを要望。

学校教育課

平成28年度学校施設の工
事・修繕は、大莞小学校屋内
運動場・木佐木小学校コンク
リート池撤去・大溝小学校、
大木中学校浄化槽排水設備
回収を予定し、学校からの工
事要望はケースバイケースで
はあるが、継続審議ではなく、

早い対応と解決を要望。

学校給食関係は、予算・決
算審査の際、質疑要望した米
飯給食の増加、食材の安全検
査、地産地消の推進などに對
応いただいた。

生涯学習課

福岡県無形民俗文化財に
選ばれた「大木の川祭り」につ
いて、概要や選定理由の説明
を受け、地域住民の皆さまの
努力に感謝。

県営住宅跡地整備事業は、
単年事業で補助金を模索中と
の説明。スポーツ大会が教育
委員会主催と体育協会主催
とあるので、町民に分かりやす
くなるように、一本化に向けて
段階的に進めていくとの説明。



大木の川祭り

国民健康保険特別会計 予算審査概要

歳入歳出それぞれ、1・41%
増で主な要因は、一般被保険

者医療給付費、共同事業拠出
金の増額によるもの。

1日1錠12週間服薬すれば
完治する高額な薬等が本格的
に使用され、長期的には医療
費削減と想定されるが、短期
間に集中すれば国民健康保険
財政には厳しい状況が予想さ
れ、さらに医療費の急激な増
加が予測困難な状況にあり、
今後は動向に注視していく。

後期高齢者医療特別会計 予算審査概要

歳入歳出は、昨年度より
1・94%減で、要因は後期高
齢者医療広域連合納付金の減
額によるもの。
運営は広域連合が行っている。



予算審査の様子